

ID 751376216 (ほのか診察室) 問合せ:市民病院(代表)(TEL.22-2171)

# マイナンバーカードを健康保険証として使ってみませんか?

監修 市民病院 医事課

マイナンバーカードの健康保険証利用とは?

マイナンバーカードを医療機関や薬局で健康保険証として利用することができます。

利用の際は、顔認証付きカードリーダーで受付を行います。顔認証付きカードリーダーを利用することで、これまでよりも正確な本人確認や過去の医療情報の提供に関する同意取得などを行うことができ、より良い医療を受けることができます。



より良い医療とは?

薬剤情報などの提供に同意をすると、お薬手帳を提示いただくことなく過去に処方されたお薬や特定健診などの情報を初診の場合でも医師や薬剤師などにスムーズに共有できます。

高額療養費の申請が不要になります

高額な医療費が発生する場合でも、マイナンバーカードを保険証などとして使うことで、ご自身で高額な医療費の一時支払いや、限度額適用認定証※の申請手続きが不要になります。※限度額適用認定証とは、窓口での支払いが高額になる場合に、自己負担額を所得などに応じた限度額にするために医療機関に提出する証類のことです。

医療保険の資格確認がスムーズになります

顔認証付きカードリーダーで本人確認すれば、スムーズに医療保険の資格確認ができ、医

療機関や薬局の受付における事務処理の効率化が期待できます。

保険証の切り替えが簡素化されます

転職や引っ越しなど、新しい健康保険証の発行を待たずに、保険者での手続きが完了次第、マイナンバーカードで医療機関や薬局を利用できます。

オンラインで医療費控除がより簡単になります

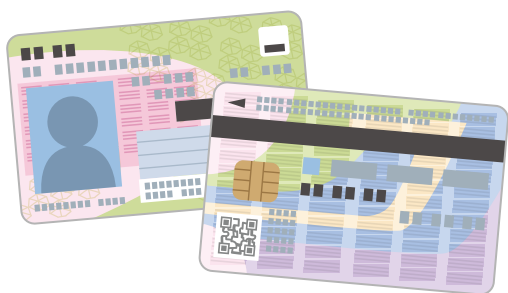
マイナポータルで医療費通知情報が閲覧できます。医療機関や薬局の窓口で支払った医療費情報を閲覧できます。

年間の医療費総額が一目分かるため、医療費控除の対象となるかどうか領収書を計算する手間が省けます。また、記録された医療費は国税庁の電子申告・納税システムであるe-Taxと連携させることでデータの自動入力も可能になります。

ただし、マイナポータルに記録されるのは健康保険適用の医療費のみです。

現在の健康保険証はいつまで使えますか?

健康保険証は12月2日以降、新規に発行されません。発行済みの健康保険証については、最長1年間、従来通り使用できるよう経過措置が設けられます。またマイナンバーカードを保有していない方も医療機関で保険診療を受けられるよう、保険者から資格確認書が発行されます。なお、資格確認書の有効期間は最長で5年間です。



再発見!



## わがまちの文化財・施設紹介

vol  
221

問合せ:長篠城址史跡保存館(TEL.32-0162)

## 大通寺と別れの水盃

大通寺は、長篠城跡から徒歩約5分の位置にある寺院です。また、この寺院の裏山には「盃井」という呼称で地域に親しまれてきた井戸が現存しているのをご存知でしょうか。

この井戸に呼称が付けられた理由は、天正3年(1575)長篠・設楽原の戦いの時に遡ります。当時、大通寺には長篠城攻めのために武田軍の馬場信春をはじめ、武田信豊、小山田昌行などの諸将らが約2,000人の兵が配備されていました。

戦いの最中、武田勝頼が陣を置く医王寺山では、織田・徳川連合軍と対峙する軍議が開かれました。馬場信春らもこの軍議に参加し、決戦回避を主張していたのですが、勝頼は長篠城攻めに続き、設楽原にも進軍することを決定します。

馬場信春は内藤昌豊、山県昌景、土屋昌次らを自分の陣所である大通寺に集めると、今までの交友に感謝し、設楽原での健闘を誓う

ため、建物の裏山にある井戸で別れの水盃を交わしたという伝説が残っているのです。これにより、その井戸は盃井と呼ばれるようになったとされています。

長篠・設楽原の戦いから450年経った現在でも、盃井には絶えることなく水が湧いています。皆様も是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



▲大通寺の盃井



考えよう!

## ごみの減量

vol  
7

問合せ:生活環境課(TEL.23-7629)

## ダンボールの出し方

市が収集している資源物の紙類の中で一番多いものがダンボールです。令和5年度は、423トンが資源化されました。(2番目は新聞紙で395トン。)

最近、収集されたダンボールの中には、緩衝材や製品の取扱説明書が入っているもの、ビニールテープが貼られたままのもの、麻ひもやビニールひもで結束されたものが出されることがあります。ダンボール以外のものが混ざっていると、リサイクルに支障が生じます。

ダンボールを資源として出すときは、次の3点に気を付けてください。

- ①ダンボール箱の中身が残っていないこと
- ②ビニールテープなど紙以外のものが付いていないこと
- ③結束する場合は、「紙ひも」を使用すること

適正な分別にご協力をお願いします。



▲ビニール紐で結束されたダンボール



▲ダンボールに混入した緩衝材など

## 奥三河ミライバレープロジェクト

問合せ:総合政策課(TEL.23-7696)

9月号で、スマートウォッチなどによる自身の体のバイタルデータ(歩数、心拍、睡眠の質など)の見える化が、行動変容の第一歩であるとのお話をしました。

今後、日本は人口減少と少子高齢化が同時に進み、人生100年時代が到来します。その中で、特に高齢者が元気であり続けるために、デジタルに少し強くなり、様々なサービスを自分で探して受けられるようになることも大切なことの一つです。

そこで、まずデジタルに興味を持ち、使えるようになつてもらうため、ヘルスケアに特化したスマートウォッチを使用していただく企画を立案しました。



▲実証実験の案内ちらし(募集終了)

この9月には奥三河ミライバレープロジェクトの健康グループ(名古屋大学と新城市健康課、高齢者支援課、情報政策課)が主催で「健康とデジタルを学ぼう」スマートウォッチをつけてみて、自分を知ろう!みんなで使いこなそう!」の実証実験を行い、新城市の健康づくりリーダーをはじめとする地域の皆さん(概ね60~75歳)に協力いただきました。参加いただいた方のアンケートやバイタルデータ、問い合わせ内容からデジタル活用効果を確認しています。

これらのデジタル活用が皆さんの前向きな行動変容のきっかけになれば幸いです。

文責 名古屋大学

未来社会創造機構

特任准教授 吉川正

## しんしろ学校給食通信

問合せ:学校給食課(TEL.22-9906)

この9月から稼働が始まった給食センターではスチームコンベクションオーブンが導入され、自校調理方式では作ることが出来なかった「焼き調理」が出来るようになりました。

スチームコンベクションオーブンは「蒸し料理」や、熱風を機内に対流させることで「焼き料理」を調理することが出来る調理機器です。

これまでは「揚げる」や「茹でる」といった調理方法で提供していたハンバーグをスチームコンベクションオーブンを使って調理し「焼きハンバーグ」として提供しました。

今後も、スチームコンベクションオーブンを活用した「鶏肉の照り焼き」などの新しい献立を予定しています。献立表や給食日よりについては、新城市のホームページからご覧いただけます。



▲焼きハンバーグ



▲スチームコンベクションオーブン

11月13日は  
ニューキャッスルの日です!



デイビッド・フォークナーさん

11月10日(日)16:00から「ニューキャッスルの日記念合同イベント」を市役所4階で開催します!

ニューキャッスル・アライアンスに関するクイズ大会、市内在住の外国人が新城のいいところについてスピーチを行います。また、ニューキャッスル・アライアンスに関する展示や加盟都市の紹介動画なども放映します。それと同時に、8月の高校生海外派遣の報告会も開催します。モンテネグロのお菓子などの試食会も行いますので、ぜひお越しください!



ニューキャッスル・アライアンス

デイビッドだより

vol  
48

問合せ:市民自治推進課(TEL.23-7697)



▲クイズ大会のイメージ



▲新城市高校生海外派遣



▲新城市高校生海外派遣の様子(インスタグラム)

11月の休館日 18日(月)、30日(土)

開館時間 9:00~20:00

新城図書館  
ホームページ



新城図書館だより

〈今月のチュウモク本〉

問合せ:新城図書館(TEL.23-2333 FAX.24-3415)

絵本

「やさいのがっこう  
なすびせんせいのおはなし」

なかや みわ/さく  
背ラベル や 24



なすび先生が、やさいの学校みんなに、おいしいやさいになるために大切な、光や水、土、温度のお話してくれます。人気シリーズ第6弾です。親子で楽しめますので、ご一緒にどうぞ。

その他の新しい絵本を紹介します。

「うろおぼえ一家のおみせや」

でぐち かずみ/作 う 24



「おすしアイドル」

やまざき ゆき  
山崎 由貴/著 お 24



「くまくまパンまつり」

にしむら としお  
西村 敏雄/作 く 24



～ 「秋の読書週間」と特別貸出のお知らせ ～

読書週間の標語: この一行に逢いにきた

10月27日(日)~11月9日(土)は、第78回「読書週間」です。期間中は、一人15冊・3週間までの特別貸出を行います。

この機会に、長編やシリーズ本、学びの本など、じっくり読んでみませんか。



## 福祉のお仕事



問合せ:子ども家庭センター(TEL.22-9918)

新城市には「新城市福祉従事者がやりがいを持って働き続けることができるまちづくり条例」があります。福祉に関わる仕事は多岐にわたり、私たちの生活に欠くことはできません。やりがいと魅力ある「福祉のお仕事」を隔月で紹介します。

一市では、妊産婦や子ども、子育て家庭に対する支援を一層充実させるため、この4月から各自治体に設置することが努力義務化された「子ども家庭センター」を市役所1階に開設しました。

子ども家庭センターでは妊娠・出産・子育て期に関する様々な相談に応じるため、保健師や社会福祉士、保育士などの専門職が在席しています。

今回は、支援を必要とする子育て家庭の相談や不登校、児童虐待等に応じる社会福祉士の仕事を紹介します。



## 社会福祉士の仕事

子ども家庭センター「みらいこ」

中尾さん

社会福祉士は、日常生活が何らかの理由によって難しくなった人に対し、困っていることを解決できるよう福祉に関するアドバイスをしたり、支援することが主な仕事です。

子ども家庭センターに寄せられる相談では、支援の対象を子どもとその保護者に限定せず、世帯単位で捉えます。その理由は、世帯の抱える課題が重複・複雑化していることが多いからです。このことから、高齢者や障がい者、生活困窮者など支援の対象の幅が広がることになりましたが、必要に応じてそれぞれの専門機関と連携して支援を進めることになりました。また利用者が安心してサービスを利用できるように、必要な情報を提供したり、手続きを行ったり、状況によっては家族に働きかけを行うなどして、利用者の環境を整備することも社会福祉士の仕事になります。

これら全ての支援現場で意識していることは、「信頼して相談

できる関係性」を築くことです。相談相手に信頼が持てないと本当のことは話せないのでよね。

## 仕事の魅力とは？

子どもの未来を直接、応援できること。

子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されたり、希望を持たず、将来に悲観するようないことは絶対にあってはなりません。生きづらさを抱えていてもちよつとした支援で前に進んで行けることはたくさんあると思います。その現場に関わる事ができるのは、とてもやりがいのある仕事だと思います。

## 不登校に関する相談

保護者からの相談を受け、子どもと保護者の考えを代弁し、学校への橋渡しを行うことがありました。何か特別な支援を行った訳ではありませんが、その後、子どもは高校へ進学し、毎日元気に登校していると保護者から報告を受けました。

不登校支援には子どもの数だけ方法があり、何をすれば解決に結びつくのか分かりません。保護者が孤立しないよう一緒に

悩み、今何ができるのか一緒に考えています。

## この仕事に興味のある方へのメッセージ

子どもの将来に関わるとても責任ある仕事です。知識や経験の他、単純に熱い思いだけではどうにもならないことも多々あります。しかし、「何とか力になりたい」という熱い思いがないと進まないことも確かなこと。熱い思いを持って一緒に子どもの未来を応援しましょう！



▲「しんしろ子どもまんなか応援サポーター宣言」の一コマ



## 秋の野菜ときのこの炊き込みご飯

### 作り方

- ① 米は洗って30分ほど浸水させ、ザルに上げておく。
- ② しいたけは石突きを取り、傘の部分のスライスし軸の部分の部分を割いておく。まいたけは手でほぐし食べやすい大きさにする。さつまいもは皮つきのまま1.5cm角に切り、水に5分ほどさらす。ごぼうと人参は皮を除き、乱切りにする。油揚げは1.5cm角に切る。
- ③ 炊飯器に米とAの調味料を加え、2合分の目盛りまで水を加えてひと混ぜする。②のきのこ野菜、油揚げを載せてご飯を炊く。
- ④ ご飯が炊き上がったらしっかりと蒸らし、3cm位の長さに切ったみつばを加えてざっくりと混ぜ合わせ、器に盛る。



レシピ：農村輝きネット・しんしろ

### 材料(4人分)

米……………	2合	人参……………	1/4本	調味料(A)
しいたけ……………	3枚	油揚げ……………	1枚	酒……………
まいたけ……………	1/2パック	みつば……………	適量	薄口しょうゆ……………
さつまいも……………	150g			みりん……………
ごぼう……………	1/2本			和風だし……………

酒……………	大さじ1
薄口しょうゆ……………	大さじ1
みりん……………	大さじ1
和風だし……………	小さじ1

問合せ 農業課(Tel23-7632)

## 2024シルバーまあけっと(ミニイベント)

会員手作りの木工品、手芸品、しめ縄飾り、わらざうりなどの展示即売を行います。

- 日時 11月7日(木)9:00~12:00(荒天・警報順延)  
 場所 新城市いきいきライフの館(シルバー人材センター)  
 問合せ シルバー人材センター(Tel23-5666)

## 第2回グランドマルシェ新城

地元農家による新鮮な農作物や林業の方の物作り体験、フリーマーケット、ハンドメイド、キッチンカーなど100店舗のブースが出店します。ステージイベントもあり、子どもからお年寄りまで楽しめます。

- 日時 11月17日(日)10:00~16:00(雨天中止)  
 場所 ふれあいパークほうらい  
 費用 駐車場整備協力金500円(1台)  
 問合せ グランドマルシェ新城実行委員会 山本(Tel090-3388-5614)



市民の皆さんからの情報をお待ちしています。イベント紹介や募集、地区の出来事など皆さんからの耳よりの話をお寄せください。  
 問合せ 23-7623 (秘書人事課)



## 第2回鳥獣害フォーラム新城2024

鳥獣害は農業被害に留まらず野生動物との衝突事故や自然環境の破壊、市街地へ野生生物の出没など社会問題になっています。

全国ではイノシシやシカの捕獲が130万頭にも及びます。そして、その約9割は破棄されています。捕獲した野生動物も地域資源としてとらえ地域活性化に繋げるため、鳥獣害フォーラムを開催します。

**日時** 11月23日(土) 12:30~(受付 12:00~)  
**場所** 新城文化会館小ホール  
**費用** 無料(先着100人)  
**問合せ** NPO法人愛猟 今中(Tel090-4258-1310)

## 新城市ほうらい吹奏楽団 第22回定期演奏会

「舞台芸術・標題音楽の愉しみ」と題して、オペラ、ミュージカル、バレエなど、舞台のイメージを広げやすい名曲をお届けします。

**日時** 12月1日(日) 14:00~(開場 13:30)  
**場所** 新城文化会館大ホール  
**費用** 無料(要入場整理ハガキ)  
※新城文化会館などの公共施設や団員にて配布しています。  
**問合せ** 星野(Tel 23-2252)



## 日本語教室ボランティア(サポーター)募集中

市内外国人の生活を言葉の面から支える日本語ボランティア(サポーター)を随時募集中です。外国語のスキルは必要ありません。見学や参加を希望される方は問合せください。

- ①「外国人のための日本語教室」 原則毎週水曜日 19:30~21:00
- ②「はじめての日本語教室 第2期」 10月12日(土)~12月14日(土)の期間の土曜日 10:00~11:30(教室後ミーティング 11:30~12:00)

**場所** ①②ともまちなみ情報センター2階  
**問合せ** 新城市国際交流協会 (Tel 23-1940、メール siea@tees.jp)

## 高校生海外派遣報告会

8月20日~27日に行われたモンテネグロへの海外派遣について、高校生10人が発表報告を行います。現地のお菓子の試食もあります。「ニューキャッスルの日記念イベント」との合同開催です。申込不要です。

**日時** 11月10日(日)16:00~18:00(17:00~ ニューキャッスルの日記念イベント)  
**場所** 新城市役所4階会議室  
**問合せ** 新城市国際交流協会 (Tel23-1940、メール siea@tees.jp)

## 少年の主張愛知県大会が新城市で開催

8月23日(金)

新城文化会館大ホールで「少年の主張愛知県大会」が24年ぶりに新城市で開催されました。

県内の中学校247校、3万5312人から、学校選考と地区ブロック審査を経た代表14人の中学生が心からの思いを語りました。新城市からは2人の生徒が出場しました。この大会で千郷中学校の牧野一貴<sup>まきののかずき</sup>さんが愛知県教育委員会長賞を受賞しました。



## 新城モビリティフェスタ2024を初開催

9月8日(日)

舟着・八名地区の公道をコース(一周約16km)にして、JBCF新城ロードレースが開催されました。富岡ふるさと会館をはじめ沿道では、地元の方々がレース観戦を楽しみました。また、スタート/ゴール地点の桜淵公園ではマルシェなどが出店し、スポーツカー展示やアスレチック体験など来場者は楽しんでいました。



▲フィニッシュの様子



▲富岡ふるさと会館の様子



▲車神社の様子



▲大会先導車(右)

## 鳳来寺小学校でラリー教室を開催

9月26日(木)

FIA世界ラリー選手権フォーラムエイト・ラリージャパン2024の開催に先立ち、鳳来寺小学校でラリー教室を開催しました。

ラリードライバーとして活躍している勝田範彦<sup>かつたのりひこ</sup>選手とコ・ドライバーの槻島もも<sup>つきしま</sup>選手が講師として、児童にラリーの魅力などを語りました。また、校庭ではデモランが行われ、児童らは歓声を送っていました。



▲勝田選手

